

2003年11月1日から2011年12月31日までに 当院救命センターへ外傷性胸部大動脈損傷で入院された 患者さん、ご家族の方へのお知らせ

外傷性胸部大動脈損傷に対する保存的治療の検討について

川崎医科大学救急医学教室では、現在川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、上記研究を行っております。外傷性大動脈損傷に対しては、早期の手術が推奨されていますが、合併損傷、医療施設の状況により保存的療法を選択せざるを得ないことがあるのが現状ですが、保存的治療の治療成績は明らかになっていません。

対象となるのは2003年11月1日から2011年12月31日までに当院へ外傷性胸部大動脈損傷で入院された方です。年齢、性別等の患者背景、バイタルサイン、血液検査、解剖学的重症度、大動脈損傷の形態及び重症度、合併損傷の有無、治療内容、予後を検討し、保存的治療の治療成績を明らかにすることを目的とします。

・今回の研究においては、検査データを使用したのかわからないようにデータを管理し、細心の注意を払って研究を行います。研究成果は学会や論文に発表する予定ですが、患者さんの個人情報公表されたり、外部に漏れることは決してございません。

・個人が判別できない状況で研究を行います。また研究結果を患者さんやご家族にお知らせすることはございません。

・本研究により新たに加わる侵襲や予想される有害事象はなく、対象者の受ける利益および損失はありません。

・学内研究費のみを使用する研究のため、利益相反は起こりません。また、対象者への謝礼もありません。

・上記の研究においてご自身の検査データや症状などが利用されることについてご同意いただけない場合、ご質問がございます場合には、お手数ですが、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

<問い合わせ連絡先>

川崎医科大学附属病院 救急科 椎野 泰和

倉敷市松島 577

086-462-1111

shiino@med.kawasaki-m.ac.jp